デジタル調節計 SIO ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	8
3	通信設定例	9
4	設定項目	65
5	結線図	70
6	使用可能デバイス	
7	デバイスコードとアドレスコード	114
8	エラーメッセージ	116

はじめに

本書は表示器と接続機器(対象調節計)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。。



1 システム構成

山武製接続機器と表示器を接続する場合のシステム構成を示します。

シリーズ		CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
SDC10	C10	05	コントローラ 上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例1(9 ページ)	結線図 5 (89 ページ)
SDC15	C15 C15	03 06	コントローラ 上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 2 (11 ページ)	結線図 6 (96 ページ)
	C20 C20 C20 C21 C21 C21	03 05 10 04 07 09	コントローラ 上の端子台	RS232C	設定例 3 (13 ページ)	結線図 1 (70 ページ)
30020/21	C20 C20	02 04		RS422/485 (4 線式)	設定例 4 (15 ページ)	結線図 2 (71ページ)
	C20 C21 C21 C21	03 06 08	コントローフ 上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 5 (17 ページ)	結線図 3 (76 ページ)
SDC25/26	C25 C26	2 2	コントローラ 上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 6 (19 ページ)	結線図 6 (96 ページ)
SDC20/21	C30 C30	040 041	コントローラ	RS422/485 (4 線式)	設定例 7 (21ページ)	結線図 2 (71ページ)
30030/31	C31 C31 C31	045 446 546	上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 8 (23 ページ)	結線図 3 (76ページ)
SDC35/36	C35 C35 C36 C36	2 4 2 4	コントローラ 上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 9 (25 ページ)	結線図 6 (96 ページ)
	C40A	3	コントローラ 上の端子台	RS232C	設定例 10 (27 ページ)	結線図 1 (70ページ)
SDC40A	C40A 2	コントローラ	RS422/485 (4 線式)	設定例 11 (29 ページ)	結線図 2 (71 ページ)	
		上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 12 (31 ページ)	結線図 3 (76 ページ)	
	C40B	3	コントローラ 上の端子台	RS232C	設定例 13 (33 ページ)	結線図 1 (70ページ)
SDC40B	C40B 2		コントローラ 上の端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 14 (35 ページ)	結線図 2 (71 ページ)
				RS422/485 (2 線式)	設定例 15 (37 ページ)	結線図 3 (76ページ)

シリーズ	CPU		リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
SDC40G	C10C 005	005	コントローラ	RS422/485 (4 線式)	設定例 16 (39 ページ)	結線図 2 (71 ページ)
300400	C400	093	上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 17 (41 ページ)	結線図 3 (76ページ)
DMC10	DMC10		コントローラ 上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 18 (43 ページ)	結線図 4 (83 ページ)
DCP31	D21A	2	コントローラ	RS422/485 (4 線式)	設定例 19 (45 ページ)	結線図 2 (71ページ)
Dersi	P31A 2	上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 20 (47 ページ)	結線図 3 (76 ページ)	
DCB32	D22.4	2	コントローラ	RS422/485 (4 線式)	設定例 21 (49 ページ)	結線図 2 (71 ページ)
DCI 52	PSZA	2	上の端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 22 (51 ページ)	結線図 3 (76 ページ)
	DCP551 2			RS232C	設定例 23 (53 ページ)	結線図 1 (70ページ)
DCP551		コントローラ 上の端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 24 (55 ページ)	結線図 2 (71 ページ)	
				RS422/485 (2 線式)	設定例 25 (57 ページ)	結線図 3 (76 ページ)
				RS232C	設定例 26 (59 ページ)	結線図 1 (70 ページ)
DCP552	DCP552 2	コントローラ 上の端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 27 (61 ページ)	結線図 2 (71 ページ)	
			RS422/485 (2 線式)	設定例 28 (63 ページ)	結線図 3 (76 ページ)	

接続構成

[接続例 1:n]



[接続例 1:n COM1 あるいは COM2 を使用した場合]



[接続例 1:n COM1 および COM2 を使用した場合]



1 接続機器は 16 台まで接続できます。ただし、DMC10 が含まれる場合は 15 台までになります。

МЕМО	• 1:n 接続で接続する調節計に以下のシリーズが含まれる場合は終端抵抗を付加しな
	いでください。
	• SDC15
	• SDC25/26
	• SDC35/36
	• DMC10

IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

S/11 - 7	使用可能ポート			
<u></u>	RS-232C	RS-422/485(4 線式)	RS-422/485(2 線式)	
PS-2000B	COM1 ¹ , COM2, COM3 ¹ , COM4	-	-	
PS-3450A、PS-3451A	COM1, COM2 ¹ ²	COM2 ¹ ²	COM2 ¹ ²	
PS-3650A、PS-3651A	COM1 ¹	-	-	
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 ¹ , COM2 ¹ , COM3 ² , COM4	COM3 ²	COM3 ²	
PS-3711A	COM1 ¹ , COM2 ²	COM2 ²	COM2 ²	
PL-3000B	COM1 ¹ ² , COM2 ¹ , COM3, COM4	COM1 ¹ ²	COM1 ¹ ²	

1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、 以下のように設定してください。

ディップスイッチの設定:RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF ¹	予約(常時 OFF)	
2	OFF	通信古式・BS 222C	
3	OFF	地后刀式, KS-232C	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	PS(PTS) 白動制御王 – ド・無効	
10	OFF	- K3(K13) 日動前面 モート・無効	

1 PS-3450A、PS-3451A を使用する場合のみ設定値を ON にする必要があります。

ディップスイッチの設定:RS-422/485(4線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	通信古式・BS 422/485	
3	ON	地后刀式, KS-422/483	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	PS(PTS) 白動制御王 – ド・無効	
10	OFF	- K3(K13) 自動前陣モート・無効	

ディップスイッチの設定:RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	· 済たナナ・カ5 400/495	
3	ON	通信力式 . KS-422/485	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	ON	SDA(TXA)とRDA(RXA)の短絡:する	
8	ON	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:する	
9	ON	DS/DTS) 白動制御王 _ ピ・右袖	
10	ON	- KS(KIS) 自動制御モート: 有効	

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

ð	うつジェクト:	ファイルの新規作成		×
	- 接続機器			
	メーカー	(株)山武		•
	シリーズ	デジタル調節計 SIO		
	ロシステ	ムエリアを使用する		この接続機器のマニュアルを見る
	- 接続方法			
	ポート	COM1	•	
				<u>機器接続マニュアルへ</u>
		戻る	通信の詳細設定	画面作成 キャンセル

設定項目	設定内容
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「(株)山武」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「デジタル調節 計 SIO」を選択します。 「デジタル調節計 SIO」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してください。 ^(デ) システム構成(3ページ)
システムエリアを使用 する	本ドライバでは使用できません。
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。

3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

```
3.1 設定例 1
```

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概	要				
	メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1		
	、 文字列データモード	1 変更			
2 7 7	-=n				
7冊1	言款在 编编 会长书	C R\$222C			
	週間速度	19600	V		
	データ長	07	• 8		
	パリティ	○ なし	 ○ 偶数 ○ 奇数 		
	ストップビット	⊙ 1	C 2		
	フロー制御	© なし	C ER(DTR/OTS) C XON/XOFF		
	タイムアウト	3 🔆 ((sec)		
	リトライ	2 🔅			
	送信ウェイト	70 🚊 ((ms)		
	BL / VCC	Ø BI	C Vcc		
	RS232C/D提合 03		、) V000 (するが)V00(広V)索酒(供給)		
	にするかを選択でき	ます。デジタル製R	S2220 Privu-Valuation		
	トを使用する場合に	に、VCCを選択して	(いたろい)。初期設定		
機					
		199			
	No. 機器名	-4 <u>(</u>	設定		
	👗 1 PLC1		↓↓ シリーズ=SDC10,機器アドレス=1		

重要

• SDC10 を使用する場合は送信ウェイトを 70ms 以上に設定する必要があります。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC10
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の PARA キー、ENT キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 運転モード時に PARA キーを長押し(3秒)し、パラメータモードへ移行します。
- 2. パラメータモードで PARA キーを長押し(3秒)し、セットアップモードへ移行します。
- 3. PARA キーを数回押し、設定する項目を表示します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択します。(設定値が点滅します。)
- 5. 2秒間操作をやめると、設定値の点滅が終了し、変更が確定されます。
- 6. PARA キーを長押し(3秒)して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C22	1
C23	0

MEMO

・設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.2 設定例 2

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		
メーカー ((株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	
通信速度	9600	
データ長	O 7	G 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	1 1	O 2
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/GTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 🔆	(sec)
リトライ	2 🔅	
送信ウェイト	10 🚊	(ms)
RI / VCC	© RI	O VOC
RS232Cの場合、	9番ピンをRI(入力)(とするか VCC (5 V電源供給)
トを使用する場合	さより。デジダル製F は、VCCを選択して	いっとっているシェージョンユニック てください。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16	台 📷	
No. 機器名		設定 トリーズ=SDC15 機器アドレス=1

機器設定

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC15
シリーズを変更した場合! アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PARA キー、mode キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

1. 運転表示時に PARA キーを長押し(2秒)し、パラメータ設定表示へ移行します。

- 2. パラメータ設定表示で PARA キーを長押し(2秒)し、セットアップ設定表示へ移行します。
- 3. PARA キーを数回押し、設定する項目を表示します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択します。(設定値が点滅します。)
- 5. 2秒間キー操作をやめると、設定値の点滅が終了し、変更が確定されます。
- 6. mode キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C64	0
C65	1
C66	1
C67	1
C68	0
C69	0

MEMO

・設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.3 設定例 3

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
通信速度	9600	
データ長	C 7	• 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	● 1	© 2
フロー制御	€ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	β÷	(sec)
リトライ	2 🗄	
送信ウェイト	10 🔅	(ms)
RI / VCC	• RI	C VCC
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)(きす デジタル制作	にするかVCC(5V電源供給) 352390アイソルージャンフェッ
トを使用する場合(t、VCCを選択して	てださい。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16台	î 📷	
No. 機器名 又 1 PLC1		
		LTT 1277-X=SDC20721/展留アトレス=1

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC20/21 💌
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 基本表示状態で ENT キーとダウンキーを同時に 3 秒以上押し、セットアップ設定項目を表示します。
- 2. ダウン / アップキーを押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 3. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 4. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C31	1
C32	0
C33	0

MEMO

設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.4 設定例 4

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		上。 一般的時間,一般的時間,一般的時間,一般的時間,一般的時間,一般的時間,一般的時間,一般的時間,一般的時間,一般的時間,一般的時間,一般的時間,一般的時間,一般的
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)
通信速度	9600	
データ長	07	• 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	⊙ 1	C 2
フロー制御	© なし	C ER(DTR/GTS) C XON/XOFF
タイムアウト	β 🚊 (s	sec)
リトライ	2 🗄	
送信ウェイト	10 📑 (r	ms)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、94 にするかを避免でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル制成	するかVCC(5V電源供給)
トを使用する場合は	s yoo yoo yoo yoo yoo yoo yoo yoo yoo yo	ください。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16台	100	
No. 機器名		設定

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC20/21 💌
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 基本表示状態で ENT キーとダウンキーを同時に 3 秒以上押し、セットアップ設定項目を表示します。
- 2. ダウン / アップキーを押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 3. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 4. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C31	1
C32	0
C33	0

MEMO

設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.5 設定例 5

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式)
通信速度	9600	T
データ長	O 7	• 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	⊙ 1	C 2
フロー制御	© なし	C ER(DTR/OTS) C XON/XOFF
タイムアウト	β 📑 (s	sec)
リトライ	2 🔅	
送信ウェイト	10 📑 (r	ns)
RI / VCC	© RI	C VOC
RS232Cの場合、9種 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル制成	するかVCC(5)V電源(供給)
トを使用する場合は	s yoo yoo yoo yoo yoo yoo yoo yoo yoo yo	などない。
機器別設定		
接続可能台数 16台	100	
No. 機結名		設定

機器設定

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC20/21 💌
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 基本表示状態で ENT キーとダウンキーを同時に 3 秒以上押し、セットアップ設定項目を表示します。
- 2. ダウン / アップキーを押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 3. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 4. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C31	1
C32	0
C33	0

MEMO

設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.6 設定例 6

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO	ポート СОМ1
文字列データモード	1 変更		
通信設定			
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	•	
データ長	07	• 8	
パリティ	○ なし	● 偶数 ○ 奇数	
ストップビット	● 1	C 2	
フロー制御	€ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🗄	(sec)	
リトライ	2 🗄		
送信ウェイト	10 🚊	(ms)	
RI / VCC	© RI	O VCC	
RS232Cの場合、9: にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)(ます。デジタル制度	こするかVCC(5V電源供給)	
トを使用する場合()	t. VCCを選択して	これをい。 初期設定	
機器別設定			
接続可能台数 16台	î 📑	= 0.000	
No. 機器名			
按統可能告致 10년 No. 機器名		設定 	

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC25/26 💌
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の para キー、mode キー、enter キー、ダウンキーおよびアップキー で設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 運転表示時に para キーを長押し(2秒)し、バンク選択表示へ移行します。
- 2. バンク選択表示で enter キーを押し、バンク設定表示へ移行します。
- 3. para キーを数回押し、設定する項目を表示します。
- 4. enter キーを押して設定値表示部分を点滅させます。
- 5. ダウン / アップキーで設定内容を選択します。
- 6. enter キーを押して、変更を確定します。
- 7. mode キーを押して運転表示に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C64	0
C65	1
C66	1
C67	1
C68	0
C69	0

MEMO

・設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.7 設定例 7

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 <u>変更</u>	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)
通信速度	9600	
データ長	07	· 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	⊙ 1	C 2
フロー制御	© なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	β 🔆 (se	ec)
リトライ	2 🗄	
送信ウェイト	10 📑 (m	15)
RI / VCC	© RI	C Voc
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)にす ます。デジカル製RS(するかVCC伝V電源供給) 239Cアイバルーションコニッ
トを使用する場合に	よ、VCCを選択してく	ださい。 初期指数定
機器別設定		
接続可能台数 16台	î 📷	=2.0
NO. 1版辞名		=
通信方式 通信速度 データ長 パリティ ストップビット フロー制御 タイムアウト リトライ 送信ウェイト RI / VCC RS232Cの場合、9: (こするかを選択でき) トを使用する場合() 機器2 技続可能台数 16台 No. 機器名 ン 1 PLC1	 ○ RS232C 9600 ○ 7 ○ なし ○ なし	 RS422/485(2線式) ・ RS422/485(4線式) ・ ・

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC30/31
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の ENT キー、DISP キー、MODE キー、ダウンキーおよびアップ キーで設定します。通信設定は READY モードでのみ変更できます。設定前に接続機器を READY モードへ移行してください。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 基本表示状態で MODE キーを 2 回押します。表示された RUN/READY モード切り替え表示で READY モードに変更します。
- 2. 基本表示状態で ENT キーとダウンキーを同時に 3 秒以上押し、セットアップ設定項目を表示します。
- 3. ダウン / アップキーを押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C31	1
C32	0
C33	0

MEMO

・設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.8 設定例 8

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		<u>接続機器変更</u>
メーカー ((株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	O RS232C	● RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
通信速度	9600	Y
データ長	07	© 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	● 1	© 2
フロー制御	© なし	C ER(DTR/GTS) C XON/XOFF
タイムアウト	β 🗄	(sec)
リトライ	2 :	
送信ウェイト	10 🚊	(ms)
RI / VCC	© RI	C Vcc
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)(, ます、デジカル制度	とするかVCCのV電源供給) 25/290 アイソルーションコニッ
トを使用する場合に	t、VCCを選択して	てださい。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16台	î 📷	
No. 機器名		

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC30/31
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の ENT キー、DISP キー、MODE キー、ダウンキーおよびアップ キーで設定します。通信設定は READY モードでのみ変更できます。設定前に接続機器を READY モードへ移行してください。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 基本表示状態で MODE キーを 2 回押します。表示された RUN/READY モード切り替え表示で READY モードに変更します。
- 2. 基本表示状態で ENT キーとダウンキーを同時に 3 秒以上押し、セットアップ設定項目を表示します。
- 3. ダウン / アップキーを押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C31	1
C32	0
C33	0

MEMO

・設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.9 設定例 9

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		<u>接続機器変更</u>
メーカー ((株)山霞	ζ.	シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモー	ド <u>1 変更</u>	
通信設定		
通信方式	C RS232C	● RS422/485位線式)
通信速度	9600	_
データ長	0.7	• 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	● 1	C 2
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/GTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 🔆	(sec)
リトライ	2 🗄	
送信ウェイト	10 🚊	(ms)
RI / VCC	© RI	O VCC
RS232Cの場合	、9番ピンをRI(入力))	(こするか) VOC (5) で面浜供給)
トを使用する場	clauge デジタル裂け 合は、VCCを選択し	れることのパイクレージョンユニック てください。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 1	6台 🚮	
No. 機器名		設定

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC35/36
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の para キー、mode キー、enter キー、ダウンキーおよびアップキー で設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 運転表示時に para キーを長押し(2秒)し、バンク選択表示へ移行します。
- 2. バンク選択表示で enter キーを押し、バンク設定表示へ移行します。
- 3. para キーを数回押し、設定する項目を表示します。
- 4. enter キーを押して設定値表示部分を点滅させます。
- 5. ダウン / アップキーで設定内容を選択します。
- 6. enter キーを押して、変更を確定します。
- 7. mode キーを押して運転表示に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C64	0
C65	1
C66	1
C67	1
C68	0
C69	0

MEMO

・設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.10 設定例 10

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
通信速度	9600	
データ長	O 7	• 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	⊙ 1	© 2
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	β ÷	(sec)
リトライ	2 :	
送信ウェイト	10 🚊	(ms)
RI / VCC	⊙ RI	C VCC
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)(注す。デジタル制度	にするかVCC(5V電源供給) 35/390 アイリーションコニッ
トを使用する場合(よ、VCCを選択して	てださい。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16台	î 📷	
No. 機器名 又 1 PLC1		====================================

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC40A
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PARA キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップ キーで設定します。通信設定は READY モードでのみ変更できます。設定前に接続機器を READY モードへ移行してください。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 基本表示状態で PARA キーを押し、PARA を表示します。次に ENT キーを押して mry を表示し、 READY モードへ移行します。
- 2. 基本表示状態で PARA キーを数回押し、SETUP を表示します。
- 3. ENT キーを押してセットアップ項目を表示します。
- 4. ダウン / アップキーを押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 5. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 6. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C84	1
C85	0

3.11 設定例 11

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 <u>変更</u>	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)
通信速度	9600	×
データ長	C 7	• 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	I 1	O 2
フロー制御	€ なし	C ER(DTR/GTS) C XON/XOFF
タイムアウト	β 🕂 (sec)
リトライ	2 🗄	
送信ウェイト	10 🚍 (ims)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、94 にするかを避れでき	野ピンをRI(入力)に ます。デジタル制度	にするかVCC(5V電源供給) \$2220アイバルージョンフェッ
トを使用する場合は	、VCCを選択して	スださい。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16台	1	
No. 機器名		設定

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC40A
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PARA キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップ キーで設定します。通信設定は READY モードでのみ変更できます。設定前に接続機器を READY モードへ移行してください。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 基本表示状態で PARA キーを押し、PARA を表示します。次に ENT キーを押して mry を表示し、 READY モードへ移行します。
- 2. 基本表示状態で PARA キーを数回押し、SETUP を表示します。
- 3. ENT キーを押してセットアップ項目を表示します。
- 4. ダウン / アップキーを押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 5. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 6. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C84	1
C85	0

3.12 設定例 12

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	◎ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)
通信速度	9600	V
データ長	C 7	@ 8
パリティ	○ なし	○ 偶数 ○ 奇数
ストップビット	● 1	C 2
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	β	(sec)
リトライ	2 🔅	
送信ウェイト	10 🚊	(ms)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、9 にオスかち避視でき	番ピンをRI(入力)(注す。デジタル制度	とするかVCC(5)(電源供給)
トを使用する場合(よ、VOCを選択して	てください。 初期職役定
機器別設定		
接続可能台数 16台	î 📷	
No. 機器名		設定 トレス=SDC40A.機器アドレス=1
		RUL

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC40A
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PARA キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップ キーで設定します。通信設定は READY モードでのみ変更できます。設定前に接続機器を READY モードへ移行してください。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 基本表示状態で PARA キーを押し、PARA を表示します。次に ENT キーを押して mry を表示し、 READY モードへ移行します。
- 2. 基本表示状態で PARA キーを数回押し、SETUP を表示します。
- 3. ENT キーを押してセットアップ項目を表示します。
- 4. ダウン / アップキーを押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 5. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 6. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C84	1
C85	0

 MEMO
 ・ 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.13 設定例 13

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO	ポート СОМ1
文字列データモード	1 変更		
通信設定			
通信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線)	(汚
通信速度	9600	•	
データ長	07	© 8	
パリティ	○ なし	● 偶数 ○ 奇数	
ストップビット	● 1	C 2	
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🔆	(sec)	
リトライ	2 🗄		
送信ウェイト	10 🚊	(ms)	
RI / VCC	I RI	C VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(ヘカ)にするかVCC(5V電源供給) にするかを避視できます。デジタル制体S222Cマイソル-ションコニッ			
トを使用する場合	は、VCCを選択し	てください。 初期語	定
機器別設定			
接続可能台数 16	台 📊	=	
1 PLC1		====================================	

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC40B
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PARA キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップ キーで設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

1. 基本表示状態で PARA キーを押し、セットアップモードに移行します。

- 2. ENT キーを押してセットアップ項目を表示します。
- 3. ダウン / アップキーを押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C25	1
C26	0
C27	0

МЕМО

設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.14 設定例 14

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1			
概要	Ē		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1	
	文字列データモード	1 変更		
通信	設定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)	
	通信速度	9600	T	
	データ長	O 7	• 8	
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数 	
	ストップビット	⊙ 1	© 2	
	フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/GTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 🗄 🤅	sec)	
	リトライ	2 🗄		
	送信ウェイト	10 🚊 (ms)	
Γ	RI / VCC	© RI	C VOC	
	RS232Cの場合、9種	番ピンをRI(入力)に ます。 デジタル 制成	(するか)VCC(5V電源供給)	
	トを使用する場合は	L、VCCを選択して	スださい。 初期設定	
	接続可能台数 16台	1		
	No. 機器名		設定 トリーズ=SDC40B.機器アドレス=1	

機器設定

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC40B
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PARA キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップ キーで設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

1. 基本表示状態で PARA キーを押し、セットアップモードに移行します。

- 2. ENT キーを押してセットアップ項目を表示します。
- 3. ダウン / アップキーを押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C25	1
C26	0
C27	0

МЕМО

設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。
3.15 設定例 15

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
通信速度	9600	•
データ長	07	· 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	⊙ 1	© 2
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	β 🚊	(sec)
リトライ	2 🗄	
送信ウェイト	10 🚊	(ms)
RI / VCC	© RI	O VCC
RS232Cの場合、9	番ピンをRI(入力)(とするか VCC (5 V電源供給)
トを使用する場合	は、VCCを選択して	るとなるレイオンレーションユニック てください。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16台	÷ 📷	
No. 機器名		

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC40B
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PARA キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップ キーで設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

1. 基本表示状態で PARA キーを押し、セットアップモードに移行します。

- 2. ENT キーを押してセットアップ項目を表示します。
- 3. ダウン / アップキーを押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C25	1
C26	0
C27	0

МЕМО

設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.16 設定例 16

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機	· [] [] [] [] [] [] [] [] [] [
概要			接続機器変更
1	メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
:	文字列データモード	1 <u>変更</u>	
通信	設定		
÷	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)
÷	通信速度	9600	v
÷	データ長	O 7	• 8
,	パリティ	○ なし	○ 偶数 ○ 奇数
;	ストップビット	● 1	© 2
	フロー制御	€ なし	C ER(DTR/GTS) C XON/XOFF
:	タイムアウト	β <u>÷</u> (s	sec)
ļ	リトライ	2 :	
÷	送信ウェイト	10 🚊 (r	ms)
	RI / VCC	© RI	O VCC
	RS232Cの場合、9番	ピンをRI(入力)に ます。 デジタル 制取	でするかVCCのV電源供給)
	トを使用する場合は	、VCCを選択して	スカシングイクレージョンユニック (ださい。) 初期設定
機器)	別設定		
-	接続可能台数 16台	100	
Г	No. 機器名 ♀1 PLC1		設定
L	•		

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC40G
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PARA キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップ キーで設定します。通信設定は READY モードでのみ変更できます。設定前に接続機器を READY モードへ移行してください。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 基本表示状態で PARA キーを押し、PARA を表示します。次に ENT キーを押して mry を表示し、 READY モードへ移行します。
- 2. 基本表示状態で PARA キーを数回押し、SETUP を表示します。
- 3. ENT キーを押してセットアップ項目を表示します。
- 4. ダウン / アップキーを押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 5. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 6. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値			
C25	1			
C26	0			
C27	0			

MEMO

設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.17 設定例 17

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー 🏻	(株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列デ	ータモード 1	<u>変更</u>	
通信設定			
通信方式	0	RS232C 📀	RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)
通信速度	96	00	
データ長	0	7 📀	8
パリティ	0	なし 📀	●偶数 ○ 奇数
ストップビッ	• •	1 C	2
フロー制徒	p ©	なし C) ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウ	F β	(sec))
リトライ	2		
送信ウェイ	'F 10	: (ms))
RI / VCC	. ©	RI O) VCC
RS2320	の場合、9番ピン	/をRI(入力)にする デジレル制PS222	5かVCC(5V電源供給)
トを使用	を進かてきより。 する場合は、VC	うり シネル 要にる232	さい。 初期設定
機器別設定			
接続可能	台数 16台 📊		
No.	機器名 PLC1		設定 トレーズ=SDC40G機器アドレス=1
•			

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC40G
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PARA キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップ キーで設定します。通信設定は READY モードでのみ変更できます。設定前に接続機器を READY モードへ移行してください。

詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 基本表示状態で PARA キーを押し、PARA を表示します。次に ENT キーを押して mry を表示し、 READY モードへ移行します。
- 2. 基本表示状態で PARA キーを数回押し、SETUP を表示します。
- 3. ENT キーを押してセットアップ項目を表示します。
- 4. ダウン / アップキーを押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 5. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 6. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値			
C25	1			
C26	0			
C27	0			

MEMO

設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.18 設定例 18

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
通信速度	19200	Y
データ長	O 7	G 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	⊙ 1	O 2
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/GTS) C XON/XOFF
タイムアウト	β 📑 ((sec)
リトライ	2 🔅	
送信ウェイト	10 🚊 ((ms)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、9 にするかを避けてき	番ピンをRI(入力)(; 注す デジタル制度	とするかVCC(5)/電源供給)
129000121200000000000000000000000000000	よ、VOCを選択して	なださい。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16台	î 🔢	
No. 機器名		設定 シリーズ=DMC10機器アドレス=1
(1)		

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	DMC10
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定はラダーソフトで行います。(スマートローダパッケージ SLP-D10 V3.0.1 で動作 確認)接続機器の機器アドレスは調節計前面のロータリスイッチで行います。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 2. ラダーソフトで[設定]をクリックし、設定画面を表示します。
- 3. メニューから [型番設定]をクリックし、接続機器の型番を選択します。
- 4. メニューから [環境設定]をクリックし、設定転送用の設定を行います。
- 5. ツリービューで [基本機能]から [通信]を選択し、通信設定を行います。
- 6. 接続機器に設定を転送します。

書込みが完了したら、接続機器の電源を再投入します。

設定値

設定項目	設定値
伝送速度	3
データ形式	0
通信最低応答時間	1
通信最低応答時間加算値	0
CPL/MODBUS 切り替え	0
メモリプロテクト	0

MEMO

 ・ 設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.19 設定例 19

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要	Ī		接続機器変更
	メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通信	設定		
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)
	通信速度	9600	
	データ長	07	• 8
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	⊙ 1	C 2
	フロー制御	© なし	C ER(DTR/OTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	β 🗄 🤅	sec)
	リトライ	2 🗄	
	送信ウェイト	10 🕂 (ms)
Γ	RI / VCC	© RI	C VCC
	RS232Cの場合、9種	番ピンをRI(入力)に ます。 デジタル 制度	するかVCC(5V電源供給)
	にする加を運動であ	Lysof シスル設成 、VCCを選択して	なお2017年917年917年917年917年917年917年917年917年917年9
	接続可能台数 16台		
	No. 機器名		設定
	1		

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	DCP31
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の FUNC キー、PARA キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 基本表示状態で FUNC キーを押しながら PARA キーを押し、設定グループの選択画面へ移行します。
- 2. PARA キーを数回押してセットアップデータ設定グループを表示し、ENT キーを押します。
- 3. ダウン / アップキーを数回押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
取足項目	山之田
<u>C84</u>	1
601	-
C85	0
605	0
C93	0
C93	0

МЕМО

・設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.20 設定例 20

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
メーカー(株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1	
文字列データモード	1 変更		
通信設定			
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	T	
データ長	C 7	8	
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数 	
ストップビット	● 1	C 2	
フロー制御	€ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	β 🔆	(sec)	
リトライ	2 🔅		
送信ウェイト	10 🚊	(ms)	
RI / VCC	© RI	C VCC	
RS232Cの場合、9 にオみかち避快でき	番ピンをRI(入力)) 時す。デジタル制度	(こするか VCC(5V電源供給) PS222Cマイリージョンコニッ	
トを使用する場合(は、VCCを選択し	てください。	
·····································			
接続可能台数 16台	÷ 📷		
No. 機器名		設定 	

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	DCP31
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の FUNC キー、PARA キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 基本表示状態で FUNC キーを押しながら PARA キーを押し、設定グループの選択画面へ移行します。
- 2. PARA キーを数回押してセットアップデータ設定グループを表示し、ENT キーを押します。
- 3. ダウン / アップキーを数回押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
取足項目	國王國
<u>C84</u>	1
601	-
C85	0
605	0
C93	0
C93	0

МЕМО

・設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.21 設定例 21

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要		接続機器変更	
メーカー (株)山武	シリーズ デジタル調節計 SIO	ポート COM1	
文字列データモード 1 変更			
通信設定			
通信方式 🔿 RS232C	○ RS422/485(2線式)		
通信速度 9600	•		
データ長 〇 7	· 8		
パリティ 🔿 なし	 ・ 偶数 ・ 奇数 		
ストップビット 💿 1	O 2		
フロー制御 💿 なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF		
タイムアウト 🛛 🗄	(sec)		
UN D A 🛛 🗄	3		
送信ウェイト 🔤	(ms)		
RI/VCC © RI	C VCC		
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOC(5V軍源供給)			
トを使用する場合は、VCCを選択	erazaze アイクレーションユニッ してください。 初期設定		
接続可能台数 16台 📷			
No. 機器名	設定 トリーズ=DCP32 機器アドレス=1		
M . 1.201			

機器設定

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	DCP32
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の FUNC キー、PARA キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 基本表示状態で FUNC キーを押しながら PARA キーを押し、設定グループの選択画面へ移行します。
- 2. PARA キーを数回押してセットアップデータ設定グループを表示し、ENT キーを押します。
- 3. ダウン / アップキーを数回押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C84	1
C85	0
C93	0

МЕМО

・設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.22 設定例 22

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要		接続機器変更	
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1	
文字列データモード	1 変更		
通信設定			
通信方式	C RS232C (● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	•	
データ長	07 (• 8	
パリティ	○ なし (● 偶数 ○ 奇数	
ストップビット	● 1 ()	0 2	
フロー制御	© なし (C ER(DTR/OTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	β 🚊 (se	c)	
リトライ	2 🗄		
送信ウェイト	10 🚊 (ms))	
RI / VCC	© RI (O VOG	
RS232Cの場合、99 にするかを選択でき	RS2320の場合、9番ピンをRI(ヘ力)にするかVCOのV電源供給) にするかち避視できます。デジカル制度92200アイバルージャンロニッ		
トを使用する場合は	よ、VCCを選択してくた	おいていたが、「おりました」	
·····································			
接続可能台数 16台	î 🌆	=1	
No. 機替名		設定 	
パリティ ストップビット フロー制御 タイムアウト リトライ 送信ウェイト RI / VCC RS232Cの場合、94 にするかを選択でき トを使用する場合(2 機器別設定 接続可能台数 16台 No. 機器名 】 】 1 [PLC1	 ○ なし (○ なし (<th> ・偶数 「奇数 2 ER(DTR/CTS) 「XON/XOFF >> >>> >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>></th>	 ・偶数 「奇数 2 ER(DTR/CTS) 「XON/XOFF >> >>> >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	DCP32
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の FUNC キー、PARA キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. 基本表示状態で FUNC キーを押しながら PARA キーを押し、設定グループの選択画面へ移行します。
- 2. PARA キーを数回押してセットアップデータ設定グループを表示し、ENT キーを押します。
- 3. ダウン / アップキーを数回押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
取足項目	國王國
<u>C84</u>	1
601	-
C85	0
605	0
C93	0
C93	0

МЕМО

・設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.23 設定例 23

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
通信速度	9600	_
データ長	O 7	• 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	1 1	⊙ 2
フロー制御	€ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3	(sec)
リトライ	2 🗄	
送信ウェイト	10 🚊	(ms)
RI / VCC		© VCC
RS232Cの場合、 にまるかを避ける。	9番ピンをRI(入力)(きます。 デジタル 制切	(こするかVCC(5V電源供給) PS222Cアインリーションコニッ
トを使用する場合	は、VCCを選択して	へるとなし、パーシレーションユニック てください。 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16 ⁻	台 📷	
No. 機器名		設定 2010年17-DODEE1 #8時辺としつ-1

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	DCP551
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PROG キー、RUN/HOLD キー、SETUP キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。通信設定は READY モードでのみ変更できます。 設定前に接続機器を READY モードへ移行してください。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. PROG キーを押しながら RUN/HOLD キーを押して READY モードへ移行します。
- 2. 基本表示状態で SETUP キーを押し、セットアップ設定グループへ移行します。
- 3. ダウン / アップキーを数回押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C76	1
C77	0
C78	0
C79	0
C80	1
C97	0

МЕМО

・設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.24 設定例 24

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)
通信速度	9600	_
データ長	O 7	• 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	⊙ 1	C 2
フロー制御	© なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	β	(sec)
リトライ	2 🗄	
送信ウェイト	10 🚊	(ms)
RI / VCC	© RI	O VOG
RS232Cの場合、9 にするかを遅れてき)番ピンをRI(入力) きます。デジタル制((こするか)VCC(5)で重源供給) PS222Cマインリージョンコニッ
トを使用する場合	は、VCCを選択し	てださい。
機器別設定		
接続可能台数 16	台 📷	=8,
No. 18番名		=

機器設定

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	DCP551
シリーズを変更した場合。 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PROG キー、RUN/HOLD キー、SETUP キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。通信設定は READY モードでのみ変更できます。 設定前に接続機器を READY モードへ移行してください。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. PROG キーを押しながら RUN/HOLD キーを押して READY モードへ移行します。
- 2. 基本表示状態で SETUP キーを押し、セットアップ設定グループへ移行します。
- 3. ダウン / アップキーを数回押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C76	1
C77	0
C78	0
C79	0
C80	0
C97	0

MEMO

設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.25 設定例 25

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
通信速度	9600	T
データ長	0.7	@ 8
パリティ	○ なし	 • 偶数 ○ 奇数 · · ·
ストップビット	⊙ 1	C 2
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 📑 ((sec)
リトライ	2 🗄	
送信ウェイト	10 🚊 ((ms)
RI / VCC	© RI	C Voc
RS232Cの場合。 にするかち避れた。	9番ピンをRI(入力)(。 きます。デジカル制度	(こするか VCC (5 V電源供給) PC 222 C マイバル - Sin - V コ こ W
トを使用する場合	は、VCCを選択して	などのシャインレーションエニック てください。 初期服役定
機器別設定		
接続可能台数 16		
No. 機器名		設定 トリーズ=DCP551 機器アドレス=1
<u>m</u>		

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	DCP551
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PROG キー、RUN/HOLD キー、SETUP キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。通信設定は READY モードでのみ変更できます。 設定前に接続機器を READY モードへ移行してください。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. PROG キーを押しながら RUN/HOLD キーを押して READY モードへ移行します。
- 2. 基本表示状態で SETUP キーを押し、セットアップ設定グループへ移行します。
- 3. ダウン / アップキーを数回押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値	
C76	1	
C77	0	
C78	0	
C79	0	
C80	0	
C97	0	

MEMO

設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.26 設定例 26

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1		
概要	要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通	調定		
	通信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
	通信速度	9600	×
	データ長	C 7	• 8
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	• 1	O 2
	フロー制御	© なし	C ER(DTR/GTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	β 🕂 (sec)
	リトライ	2 🔅	
	送信ウェイト	10 🚊 (ms)
[RI / VCC	• RI	C VCC
	RS232Cの場合、9i にするかち避視でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジカル制度	:するかVCC(5V電源供給)
	トを使用する場合は	より。) りろル製い L、VCCを選択して	べださい。 初期設定
機器	器別設定		
	接続可能台数 16台		
	No. 機器名		設定

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	DCP552 💌
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PROG キー、RUN/HOLD キー、SETUP キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。通信設定は READY モードでのみ変更できます。 設定前に接続機器を READY モードへ移行してください。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. PROG キーを押しながら RUN/HOLD キーを押して READY モードへ移行します。
- 2. 基本表示状態で SETUP キーを押し、セットアップ設定グループへ移行します。
- 3. ダウン / アップキーを数回押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C76	1
C77	0
C78	0
C79	0
C80	1
C97	0

MEMO

・設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.27 設定例 27

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー (株)山武		シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード	1 変更	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)
通信速度	9600	T
データ長	0.7	· 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	⊙ 1	© 2
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	β 🕂 ((sec)
リトライ	2 🗄	
送信ウェイト	10 🚊 ((ms)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、 にするかち避視で	9番ピンをRI(入力)(2 きます。 デジカル 制度	にするかVCCのV電源供給)
トを使用する場合	は、VCCを選択して	などなどのパインレーションエニック 初期設定
機器別設定		
接続可能台数 16 ⁻		
No. 機器名		設定 「」 シリーズ=DCP552機器アドレス=1
00		

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	DCP552 💌
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PROG キー、RUN/HOLD キー、SETUP キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。通信設定は READY モードでのみ変更できます。 設定前に接続機器を READY モードへ移行してください。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. PROG キーを押しながら RUN/HOLD キーを押して READY モードへ移行します。
- 2. 基本表示状態で SETUP キーを押し、セットアップ設定グループへ移行します。
- 3. ダウン / アップキーを数回押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C76	1
C77	0
C78	0
C79	0
C80	0
C97	0

МЕМО

設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

3.28 設定例 28

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー (株)山武	シリーズ デジタル	l調節計 SIO	ポート COM1
文字列データモード 1	<u>変更</u>		
通信設定			
通信方式 〇	RS232C ③ RS422/485(2線式)	〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 960	00		
データ長 〇	7 💿 8		
パリティ 🔿 :	なし 💿 偶数	○ 奇数	
ストップビット 💽	1 02		
7日〜制御 🌀 🕄	なし C ER(DTR/GTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト 🛛 🛛 🖇	(sec)		
リト ラ イ 2			
送信ウェイト 10	:: (ms)		
RI / VCC RS232Cの場合、9番ピン にするかを選択できます。 トを使用する場合は、VC	RI C VOC をRI(入力)にするかVOC(5)V電源供給 デジタル製RS232Cアイソレーションユニ 20を運用してびざい。)))	
		▲ 新聞	
機器別設定 接続可能台数 16台			
No. 機器名			
₿ 1 PLC1	■ シリーズ=DCF	P552,機器アドレス=1	

機器設定

🏄 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	DCP552 💌
シリーズを変更した場合。 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1 🗄
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は調節計前面の PROG キー、RUN/HOLD キー、SETUP キー、ENT キー、DISP キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。通信設定は READY モードでのみ変更できます。 設定前に接続機器を READY モードへ移行してください。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. PROG キーを押しながら RUN/HOLD キーを押して READY モードへ移行します。
- 2. 基本表示状態で SETUP キーを押し、セットアップ設定グループへ移行します。
- 3. ダウン / アップキーを数回押して設定する項目を選択し、ENT キーを押します。
- 4. ダウン / アップキーで設定内容を選択し、ENT キーを押します。
- 5. DISP キーを押して基本表示状態に移行します。

設定値

設定項目	設定値
C76	1
C77	0
C78	0
C79	0
C80	0
C97	0

MEMO

設定するパラメータは調節計によって異なります。詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

4.1 GP-Pro EX での設定項目

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1	
概要	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー ((株)山武	シリーズ デジタル調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C @ RS	3422/485(2線式) C RS422/485(4線式)
通信速度 9600 🔽	
データ長 〇7 ④8	
パリティ 🔿 なし 🔍 偶	数 🔿 奇数
ストップビット 💿 1 🔿 2	
フロー制御 💿 なし 🔿 EF	(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト β 🚊 (sec)	
yh o r 2 芸	
送信ウェイト 🛛 70 📑 (ms)	
RI/VCC © RI O VC	00
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかい にするかを選択できます。デジカル制用S22201	(CC(5)(電源(供給))
トを使用する場合は、VOCを選択してください。	初期設定
機器別設定	
接続可能台数 16台 📷	
No. 機器名	返走 ■ シリーズ=SDC10,機器アドレス=1
	11 J29 - X=3D010,4機器アドレス=1

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を表示します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0 ~ 255」で入力します。
RI/VCC	9番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🟬 をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	SDC10
シリーズを変更した場合 アドレスを再確認してくだ	は、すでに使用されている さい。
機器アドレス	1
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

設定項目	設定内容		
シリーズ	接続機器の種類を表示します。		
機器アドレス	接続機器のアドレスを「1~127」で入力します。		

4.2 オフラインモードでの設定

通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。

デジタル調節計 \$10 [COM1] Page 1/1 通信方式 [S422/485(44泉式)) ▼ 通信速度 9600 ▼ データ長 ? 8 パリティ なし 6個数 奇数 ストップビット 1 2 フロー制御 なし タイムアウト(s) 3 ▲ リトライ 2 ▲ 送信ウェイト(ms) 10 ▲	通信設定	機器設定	オプション		
デジタル調節計 \$10 [COM1] Page 1/1 通信抜成 R\$422/485(44線式) 第6800 第 第 アータ長 ア なし (個数) 奇数 ストップビット 1 2 フロー制御 なし タイムアウト(s) リトライ 2 ▲ 送信ウェイト(ms) 3 ▲ (10 					
通信方式 FS422/485(44& 通信速度 づ「クタ長 ? ? ● 8 パリティ なし 個徴 奇数 パリティ なし 個数 奇数 パリティ クロー制御 なし 3 ▲ タイムアウト(s) りトライ ズ信ウェイト(ms) 10 </th <th>デジタル調節計 SIO</th> <th></th> <th></th> <th>[COM1]</th> <th>Page 1/1</th>	デジタル調節計 SIO			[COM1]	Page 1/1
リトライ 送信ウェイト(ms) 10 ▼ ▲		通信方式 通信速度 データ長 パリティ ストップビット フロー制御 タイムアウト(s)	RS422/485(- 9600 7 なし ・ 1 なし	4線式) ◆ 8 ◆ 個数 ◆ 2 3 ▼ ▲) 奇数
終了 戻る 2006/01/31		リトライ 送信ウェイト(ms) 終了		2 ▼ ▲ 10 ▼ ▲	2006/01/31

設定項目	設定内容
	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信方式	重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様 を確認し、正しく設定してください。 シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保 証できません。シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアル を参照してください。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を表示します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~ 255」で入力します。

設定項目	設定内容
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0 ~ 255」で入力します。

機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
			Foom 1	D - 14
テジダル調節計 510			[CUMI]	Page I/I
接続機	器名 PLC	1		
	シリーズ	SDC30/31		
	機器アドレス			1
	終了		戻る	2006/01/31 15:56:14

設定項目	設定内容		
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC])		
シリーズ	接続機器の種類を表示します。		
機器アドレス	接続機器のアドレスを「1~127」で入力します。		

オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
デジタル調節計 SIO		,	[COM1]	Page 1/1
	RI / VCC RS232Cの場合、 かVCC(5V電源使 す。デジタル楽 ユニットを使用 てください。	● RI 9番ピンをRI(入力)にで 統合にするかを選択でき 線82320アイソレーショ 討する場合は、VCCを選打	o VCC する きま :ン 沢し	
	終了		戻る	2006/01/31 15:56:25

設定項目	設定内容		
RI/VCC	9番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。		

5 結線図

以下に示す結線図と山武が推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図でも動作上 問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部でSGとFGは接続されています。接続機器とSGを接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- 接続機器側の端子番号は付加機能によって異なるため、接続機器のマニュアルで確認してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。
- 推奨ケーブル

会社名		型式	
萨合 電伯 /	2 芯	IPEV-S-0.9mm ² × 1P	
膝启电脉(怀)	3 芯	ITEV-S-0.9mm ² × 1T	
日立電線(株)	2芯	KPEV-S-0.9mm ² × 1P	
	3 芯	KTEV-S-0.9mm ² × 1T	

結線図 1

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP (COM1) LT (COM1) IPC ¹ PC/AT	自作ケーブル	ケーブル長:15m 以内

1 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 『 IPC の COM ポートについて (6ページ)



結線図 2

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) LT (COM1) IPC ²	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	B 自作ケーブル		
GP ³ (COM2)	С	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長: 500m 以内
	D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合


B. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





C.(株)デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株)デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





D.(株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





結線図 3

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) LT (COM1)	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	В	自作ケーブル	
GP ² (COM2)	C D	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長: 500m 以内
IPC ³	E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

3 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 「ア IPC の COM ポートについて (6ページ) A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





B. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





C.(株)デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株)デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





D.(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





E. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





F. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





結線図 4

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) LT (COM1)	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	В	自作ケーブル	
GP ² (COM2)	C D	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長: 500m 以内
IPC ³ (株)デジ		 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

- A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



MEMO

終端抵抗は不要です。



- B. 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



мемо

• 終端抵抗は不要です。



C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



MEMO

• 終端抵抗は不要です。

1:n 接続の場合



MEMO ・ 終端抵抗は不要です。

D.(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合
 1:1接続の場合



МЕМО

終端抵抗は不要です。

1:n 接続の場合



- E.(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



MEMO

終端抵抗は不要です。



F. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



MEMO

終端抵抗は不要です。



結線図 5

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) LT (COM1)	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	В	自作ケーブル	
GP ² (COM2)	С	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長: 500m 以内
	D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ³	E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	F	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

3 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 『ア IPC の COM ポートについて(6ページ) A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





B. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





D.(株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





E. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台 変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





F. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



結線図 6

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) LT (COM1)	A	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	В	目作ケーフル (株)デジタル製オンラインアダプタ	
GP ² (COM2)	С	CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
	D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ³	E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	F	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

3 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^(愛) IPC の COM ポートについて(6ページ)

- A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



МЕМО

• 終端抵抗は不要です。



- B. 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



MEMO

• 終端抵抗は不要です。

1:n 接続の場合



MEMO ・ 終端抵抗は不要です。

 C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



MEMO

• 終端抵抗は不要です。



D.(株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



МЕМО

終端抵抗は不要です。

• 1:n 接続の場合



E.(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



MEMO

• 終端抵抗は不要です。



F. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



МЕМО

• 終端抵抗は不要です。



6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

接続機器のアドレスは以下のダイアログで入力します。

	💰 アドレス入力(ワード) 🛛 🗙								
	接続	機器	ŧ	PLC1			•		_1
			7	005	01	_	-		
	Ba	ick				С	lr		
	A	В	С		7	8	9		
2	D	Е	F		4	5	6		
					1	2	3		
		多照			0	E	nt		
					_				

1. アドレス

2. 参照

アドレスを入力します。 使用できるパラメータのリストが表示されます。 使用するパラメータをクリックして「選択」を押すと、アドレ

6.1 SDC10

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
データ	00501.0-04504.F	00501-04504	[L/H]	1

スが入力されます。

重要	 GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を 行うと誤動作の原因となります。「システムデータエリアを使用する」は設定しない でください。
MEMO	 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	「『「表記のルール」
	 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があ ります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエ ラーは表示されます。

6.2 SDC15/SDC25/SDC26/SDC35/SDC36

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
データ	00273.0-31243.F	00273-31243	[L/H]	1

重要	 GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を 行うと誤動作の原因となります。「システムデータエリアを使用する」は設定しない でください。
MEMO	 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	「表記のルール」
	 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があ ります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエ ラーは表示されます。

6.3 SDC20/SDC21

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
データ	0301.0-0690.F	0301-0690	[L/H]	1

重要	 GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を 行うと誤動作の原因となります。「システムデータエリアを使用する」は設定しない でください。
MEMO	 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	^{「②●} 「表記のルール」
	 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があ ります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエ ラーは表示されます。

6.4 SDC30/SDC31

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
データ	00501.0-06049.F	00501-06049	[L/H]	1

重要	 GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を 行うと誤動作の原因となります。「システムデータエリアを使用する」は設定しない でください。
MEMO	 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	^{で全} 「表記のルール」
	 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があ ります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエ ラーは表示されます。

6.5 SDC40A

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
データ	00501.0-06100.F	00501-06100	[L/H]	1

重要	 GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を 行うと誤動作の原因となります。「システムデータエリアを使用する」は設定しない でください。
MEMO	 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	^{でデ} 「表記のルール」
	 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があ ります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエ ラーは表示されます。

6.6 SDC40B

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
データ	00501.0-08902.F	00501-08902	[L / H]	1

重要	 GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を 行うと誤動作の原因となります。「システムデータエリアを使用する」は設定しない でください。
MEMO	 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	^{でデ} 「表記のルール」
	 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があ ります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエ ラーは表示されます。
6.7 SDC40G

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
データ	00501.0-06100.F	00501-06100	[L/H]	1

重要	 GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を 行うと誤動作の原因となります。「システムデータエリアを使用する」は設定しない でください。
MEMO	 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	「『「表記のルール」
	 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があ ります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエ ラーは表示されます。

6.8 DMC10

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
データ	01001.0-07806.F	01001-07806	[L/H]	1

重要	 GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を 行うと誤動作の原因となります。「システムデータエリアを使用する」は設定しない でください。
MEMO	 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	「表記のルール」
	 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があ ります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエ ラーは表示されます。

6.9 DCP31/DCP32

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
データ	00501.0-04600.F	00501-04600	[L/H]	1

重要	 GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を 行うと誤動作の原因となります。「システムデータエリアを使用する」は設定しない でください。
MEMO	 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	「表記のルール」
	 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があ ります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエ ラーは表示されます。

6.10 DCP551

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
データ	00256.0-01712.F	00256-01712	[L/H]	1

重要	 GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を 行うと誤動作の原因となります。「システムデータエリアを使用する」は設定しない でください。
MEMO	 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	「『「表記のルール」
	 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があ ります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエ ラーは表示されます。

6.11 DCP552

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
データ	00256.0-02003.F	00256-02003	[L / H]	1

重要	 GP-Pro EX のシステムエリア設定で「システムデータエリアを使用する」の設定を 行うと誤動作の原因となります。「システムデータエリアを使用する」は設定しない でください。
MEMO	 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	「表記のルール」
	 存在しないアドレスを使用した場合でも、読み出しエラーが表示されない場合があ ります。この場合、読み出されたデータは0が保持されます。なお、書き込みエ ラーは表示されます。

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレ ス」を設定している場合に使用します。

7.1 SDC10

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データ		0080	ワードアドレス

7.2 SDC15 /SDC 25/SDC26 / SDC35/SDC36

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データ		0080	ワードアドレス

7.3 SDC20/SDC21

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データ		0080	ワードアドレス

7.4 SDC30/SDC31

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データ		0080	ワードアドレス

7.5 SDC40A

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データ		0080	ワードアドレス

7.6 SDC40B

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データ		0080	ワードアドレス

7.7 SDC40G

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データ		0080	ワードアドレス

7.8 DMC10

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データ		0080	ワードアドレス

7.9 DCP31/DCP32

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データ		0080	ワードアドレス

7.10 DCP551

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データ		0080	ワードアドレス

7.11 DCP552

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データ		0080	ワードアドレス

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のよう に表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器 の名称です。(初期値 [PLC1])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数): MAC アドレス (16 進数)」のように表示 されます。 • デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 • 受信エラーコードは「10 進数[16 進数]」のように表示されます。

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード :2[02H])」

MEMO	• 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
	・ ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「エ
	ラーが表示されたら(エラーコード一覧)」を参照してください。